

2015年10月29日

早稲田大学大学院政治学研究科 公共経営専攻 修了要件等の変更について

公共経営大学院では、公共経営的視座に立って活躍する高度専門職業人を養成するために、高度で実践的な教育を展開しております。この度、実務経験者のリカレント教育の一層の展開をはかることを目的に、修了要件ならびにカリキュラムを一部変更いたします。

これに伴い、2017年度4月第1期入試(2016年5月出願受付開始予定)より、出願書類および博士学内進学への出願資格も一部変更いたします。出願にあたってはご注意ください。よろしくお願いいたします。

<修了要件およびカリキュラムの変更>

変更内容①：修了要件単位数の変更(1年制、2年制)

修了要件単位数を変更することにより、社会人学生の勤務等との両立を容易にし、また1科目あたりの学修時間の増大を図る。修了要件単位数は以下のとおり。

1年制コース： 現行 36 単位 ⇒ 変更後 32 単位

2年制コース： 現行 40 単位 ⇒ 変更後 36 単位

変更内容②：目的に応じたカリキュラム制度の導入(1年制)

1年制コースにおいて、「政策研究フォーカス」と「政策実践フォーカス」の2つの履修区分を導入する。研究テーマに基づくリサーチペーパーの作成に向けての学修に重点を置いたものが「政策研究フォーカス」、科目履修による学修に重点を置いたものが「政策実践フォーカス」である。修了要件単位数は同じである。出願時にフォーカスを選択する。

●政策研究フォーカス

本フォーカスでは、自らの研究テーマに基づいて研究を行い、最終成果物としてリサーチペーパー(4単位、以下、RP)を作成する。週1回の研究指導(専門研究セミナー)の履修を毎学期必須とし(各学期2単位)、この研究指導を経て、RPの作成を行う。RPの作成と研究指導で計8単位を取得することになる。

●政策実践フォーカス

本フォーカスでは、政策研究フォーカスとは異なり、指導教員の研究指導(指導教員が設定している毎週特定の曜日、時限)の毎学期の履修および出席を必須とせず、月1回程度の指導のもとプロジェクトペーパー(政策提案)(仮称)(以下、PP)の作成を進める。よって、特定の曜日および時限に設定された科目の履修を求められるのは、必修科目4科目のみとなる。その結果、学生による履修時限設定の自由度は増し、勤務等との両立を志す者にとって、それが実現しやすいカリキュラム設計となっている。PPの作成により取得する単位は2単位である。この

ため、「政策研究フォーカス」との6単位の差(研究指導の4単位+RPとPPの差分2単位の合計)をより多くの科目履修によって取得することになる。

変更内容③：必修科目の追加(1年制)

方法論科目(3科目必修)に加え、実務経験者のリカレント学修に必要な視点を供給する科目(「公共経営論」)を新たに必修科目とする。

<修了要件等の変更に伴う入試制度の変更>

・入試制度(出願書類)

1年制の政策実践フォーカスを選択する者はこれまでの研究計画書ではなく政策提案書を提出することになる。

・博士後期課程への学内進学について

1年制の政策実践フォーカスを選択した者の学内進学試験の受験は認めない。

早稲田大学大学院政治学研究科
E-mail: gspas-admission@list.waseda.jp
[Tel:03-3208-8534](tel:03-3208-8534)

政治学研究科 公共経営専攻
修了要件およびカリキュラムの変更
(2017年度入学者から) ※赤字が変更点

1年制コース

- 修了要件単位数: 32単位
- 必修科目:
数量分析、基礎経済学
公共の哲学、**公共経営論**
※フォーカスは出願時に選択

2年制コース

- 修了要件単位数: 36単位
- 必修科目:
数量分析、基礎経済学
公共の哲学

政策研究フォーカス

…自身の研究テーマを深めたい実務経験者向け

研究指導(週一回の専門研究セミナー
(4単位・必修))を経て、最終成果物として
「リサーチペーパー」(4単位・必修)を作成

政策実践フォーカス

…勤務等との両立を志し、科目履修を重視したい
実務経験者向け

科目履修を中心とし、リサーチペーパーに
代えて、指導教員による指導(月1回程度)
のもとに「プロジェクトペーパー」(2単位・必修)
を作成